

平成11年度 N I E 実践報告

1. 研究テーマ

新聞に親しみ、自分の興味・関心に基づいて新聞を活用する子どもを目指して
～5年生の実践：「総合的な学習の時間」との関連を図りながら～

長野県長野市立三輪小学校 深井和恵

2. テーマ設定の理由

情報化社会と言われる今日、情報を得る手段は多種多様である。そんな中で、新聞は子どもたちのほとんどの家庭で購読され、テレビと共に国内外の様々な情報を得るための大切な手段となっている。

本学級の子どもたちの新聞とのかかわりという点、テレビ番組欄はほとんどの子どもが見ているし、スポーツ欄や4コマ漫画、大きな事件などが載った社会面などを見ている子どもが多い。しかし、その他の紙面になると、目を向けているのはごくわずかな子どもたちにすぎない。それは新聞がどのようなものかということをよく知らなかったり、たくさんの文章や難語句を読むことを避けたりしていることが原因として考えられる。また、子どもたちを取り巻く環境や生活スタイルから、子どもたちが得る情報のほとんどはテレビ音声からというのが今日の現状である。

新聞の紙面は

- ・読み手の興味・関心やニーズに応じて分野別にまとめられている。
- ・読みたいページから、読みたいときに、読みたい場所で読める。
- ・記事を切り取って整理・保存し、何度でも繰り返し内容を確認される

などの点で優れている。しかし、今までは教師が資料として提示したり、課題を与えて活用するというのが、主な新聞の扱い方であった。

昨年度の実践学級は卒業し、今年度は5年生の担任となった。そこで、今年度は進んで新聞を開き、自分の興味や関心をもとに新聞を使って調べたり、新聞内容そのものを楽しんだりとらえたりできる子どもたちの姿を願いたい。新聞を通して、テレビとは違う角度から情報をとらえ、自分の視野を広げてほしいと考えた。

また、教科の枠を越えた総合的な学習として、どのように新聞を活用していったらよいかを探ろうと、上記テーマを設定した。

3. 研究のあゆみ

(1) 試みようとしたこと

①新聞に親しむために：「新聞を知る」ことができる活動を構想する

- ・新聞の紙面構成や内容に関わる基礎知識は、全体で学習する。
- ・子どもたちのよく見る紙面やタイムリーな記事から話題を取り上げたり、同日発行の数社の新聞比べや見出し比べなどをしたりして、様々な新聞の見方を紹介する。

- ・気になる記事や興味ある記事を切り抜く活動を取り入れる（スクラップ）。
- ・新聞作りにかかわる人々へ注目できるような活動を構想する。
- ・教室に新聞を置きいつでも好きな時に新聞を見られるようにする。（1学級のみの実践のため、常時教室に新聞を置くことができた。）

②自分の興味・関心に基づいて新聞を活用するために：

個人でできる活動を構想させる

- ・新聞を活用してやってみたいことについてテーマを決め、活動の具体的内容や活動方法、時間の割り振りなどの計画を立られるよう、ひとりひとりに支援・助言する。
- ・子どもたちの活動の様子を見ながら、教室に置く新聞の数や種類を決め、新聞を活用しやすい環境づくりにつとめる。
- ・難漢字や難語句はできる範囲で辞書を活用し、状況に応じて教師が援助する。
- ・新聞を活用して調べたりまとめたり作ったりしたものについて、グループ内で意見交換し合い、自分の活用の仕方を振り返る場をもつ。意見交換をする場のもち方については、グループごとに進行計画を立てさせるようにする。
- ・新聞への興味・関心や活用への意欲が更に膨らむよう、作品などは展示して見合う。

(2)実践の概要

新聞の4コマ漫画のおもしろさを、友達に分かるように説明しようと真剣に考えた子どもたち。
（新聞に親しむための活動を取り入れた事例） <1学期：学活>

子どもたちに聞いたところ、新聞紙面の中でテレビ番組欄に次いでよく目になっているのが4コマ漫画である。マンガ大好きの子からすれば当然の結果と言える。そこで、子どもたちの興味のあるところから新聞に触れてみよう、新聞紙面の構成や内容を知る全体学習の中で、各自が持参した4コマ漫画を扱った。「説明」ということが苦手な子どもが多い本学級なので、普段は何となく見ているだけの4コマ漫画のおもしろさを、相手に分かるように説明する活動を行った。初めは「エー。」と声をあげた子どもたちだったが、すぐに引き込まれ、黙々と説明を書き始めた。書き終えたら、友達同士で読み合い感想を書いたり、友達の4コマに興味を示して、幅広く交換して4コマを見合ったりしていた。

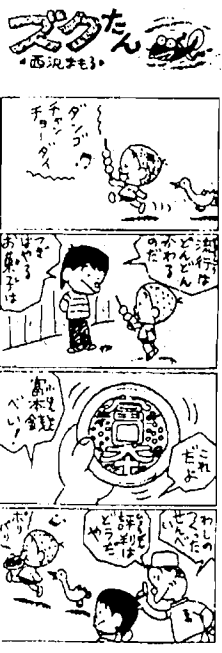
＜活動例＞

ばくの 紹介する 4コマ漫画
わたしの 名前 (T. M)

1. この漫画は…ズクたん
6月9日(水) 信濃毎日新聞
(夕刊)

たんご3兄弟が人気で、ぼんずが歌をうたっていて、ズクたんがつぎはお菓子をはやるとして「富本銭」をせんべいにした。おじいさんが「富本銭」をいっしょに作った。ぼんずがうれしそうにもっていった。次は、これがはやるかなと、じいさんはうなずいた。

2. この漫画のおもしろいところは…次は、ふいふせんべい、か、はやるかもという戸所。とたんごもせんべいもたべもの。



(3)実践から見えてきたこと

①実践の反省・課題

- ・自分の家で購読している新聞以外の4コマ漫画には、どの子ども特に興味をもったようだった。様々な4コマ漫画を通して他新聞の名前や存在を知ることができ、1時間の中で楽しめるという点で有効な活動であったと思われる。
- ・漫画は確かに子どもの興味を引くが、漫画を扱ってどんな活動をし、どんな力をつけるかということが重要な課題である。「説明」という活動で、国語との関連をはかることができた。漫画の題材となっている社会のニュースを見つける（社会科との関連）、他の新聞記事をもとに4コマ漫画を作るなどの活動も考えられるだろう。

②さらなる実践に向けて

- ・子どもたちの関心のある記事を大切に活動の構想を図る。
- ・辞書の活用はすすめるが、子どもの実態に応じて語句や漢字へ抵抗を除く援助をする。
- ・個々の活動計画をきちんと立てさせるとともに、活動の進行状況を把握する。
- ・友達の活動を知り、他の記事へも関心を広げられるよう工夫する。

その後、子どもたちは少しずつ新聞に興味を示すようになる。

1 学期後半：自分の気になる記事を持ち寄り、グループごとにまとめ、コメントを付ける活動を取り入れる。（学活3時間：活動の提案は担任から）

2 学期初め：国語の教科書（上）の新聞を取り上げた単元で、新聞の内容を読んだり比べたりする活動を行う（国語の授業として3時間）

教室で新聞を購読できることを話し、「新聞を使ってどんな勉強をしたいか」という形で子どもたちに投げかけていき、子どもの声を生かしながら、次のような単元の構想を考えた。

4. 単元の設定

(1)単元名

新聞を使って ～見よう・調べよう・作ろう～

(2)単元のねらい

- ・新聞記事の見出しや内容に関心を寄せ、積極的に新聞を開く。
- ・自分で活動計画を立て、新聞記事を活用した調べ活動やまとめ活動等を進める。
- ・調べたりまとめたりしたことを友達に分かるように発表する。
- ・友達の取り上げた記事についての発表をよく聞き、記事の内容に関する感想をもつ。

(3)展開の概要

（全12～14時間扱い・・・子どもの活動の実態に合わせてながら）

＜予想される着目記事＞

紙面	予想される着目記事
社会	・ 日常の事故や犯罪 ・ 日本中の話題となった大きな事件・事故 ・ 4コマ漫画 ・ 環境問題
スポーツ	・ プロ野球やJリーグから ・ 好きなチームの勝敗 ・ 人気選手の活躍
地域	・ 地域の行事や催し物
国際	・ 外国で起きている事件 ・ 外国の人々の暮らし ・ 世界の問題
その他	・ 広告 ・ 見出し ・ 写真 ・ 天気図

＜考えられる各教科とのかかわり＞

国語

読む・書く・まとめる・伝える

社会

3・4年：市や県の地域学習

5年：私たちの生活と工業生産

：私たちの生活と国土

6年：世界の中の日本・・・など

道徳（徳目）

尊敬 思いやり 国際理解

郷土愛など

＜活動の構想＞

導入

自分が気になる記事や好きな記事を集めてみよう

（1時間）

日本シリーズは
中日優勝かな？

毎日どんな事件が
起きているかな

4コマ漫画
おもしろいよ

高橋選手の
記事あるかな

集めた記事ノートに
貼っていい？

●新聞の名称や日付も分かるようにしよう
必要な部分を正確に切り抜こう。

課題 づくり

新聞を使って、やってみたいことを決めよう

プロ野球の
秘密をまと
めたいな

日本シリーズの
記事を集めて
説明をつけよう

4コマ特集でヒラ
リ君のおもしろさ
をまとめてみよう

地域のお祭りを
ガイドブックに
してみよう

記事の切り抜きは
家でもやるよ

＜各自その活動と決めたわけなどをカードに記入する＞

●「どんなことをどうやって進めるの？」

本みたいにしたいから
画用紙たくさんいるよ。

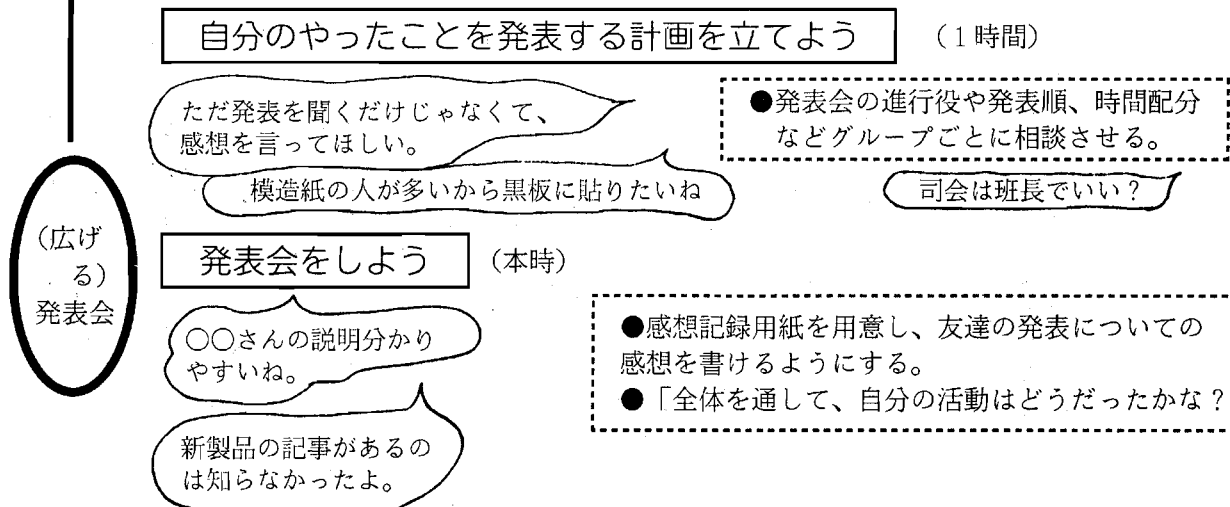
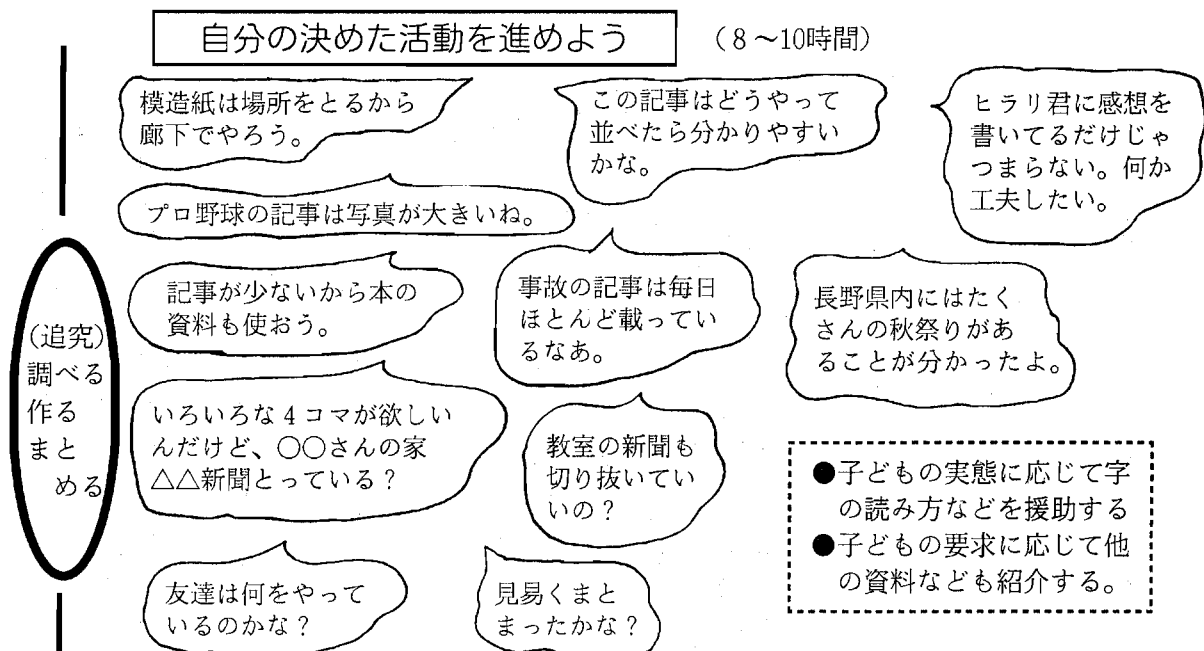
模造紙のまとめ
5時間くらいで
できるかな？

ピカソ展見てきた
ことも書けるね。

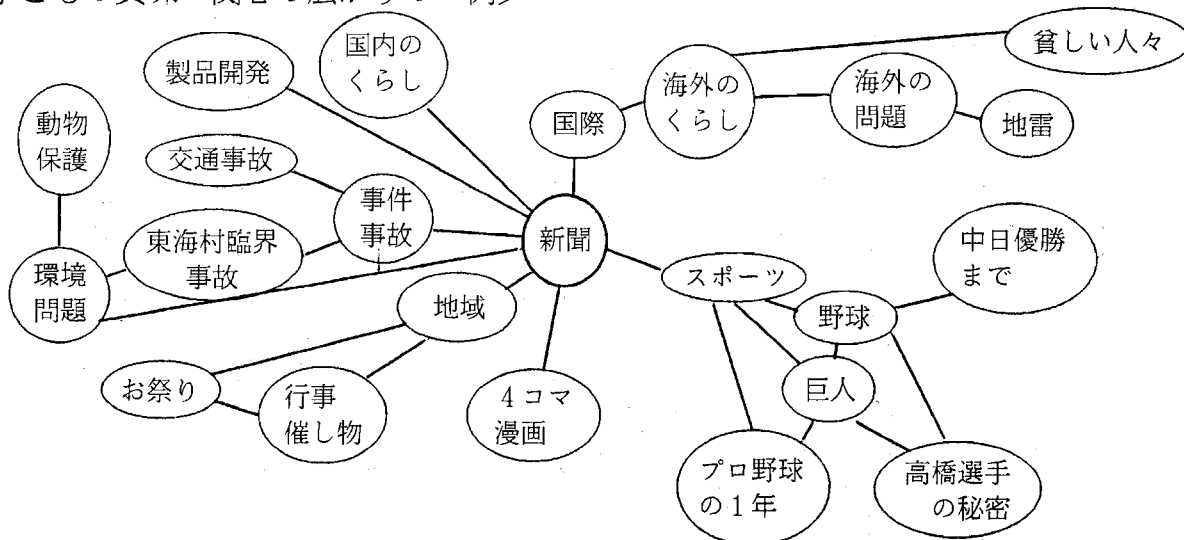
見易いように記事を拡大しよう

インターネットも使っていー？

新聞で分からないことは
本などで調べてみよう



<子どもの興味・関心の広がりの一例>



このような構想を頭に置き、子ども自身の活動を大切にしながら、活動のまとめとしてグループ発表会を考えたのが、次の学習指導案である。

(4), 本時案

① 本時の位置 (全14時間扱い中の第14時)

② 本時の主眼

新聞記事を使ってできたものを友達と見せ合いたいと思っている子どもたちが、お互いの活動を発表し、互いに意見を交換し合うことを通して、自分の記事の取り上げ方やまとめ方を振り返ったり、友達の記事へも関心を寄せたりすることが出来る。

③ 指導上の留意点

- ・グループごとの発表会の計画を具体的に立てさせ、進行役の子どもにも事前に進行の仕方を助言しておく。
- ・教室の中を区切ったり、グループの位置を工夫するなど、発表しやすい環境設定を援助する。
- ・「友達に分かりやすく発表する」という観点を事前にきちんと伝え、必要に応じて相談にのる。

④ 予想される展開

1. 発表の準備をする (5')

- 発表の場所を整え、発表で話すことをもう一度確かめよう。
ダイエーの主観のことは特に詳しく話そう。

2. グループごとに発表会を行う。(20')

高橋選手
の活躍は
すごかった
んだね。

5, I, M	: 4コマ漫画ヒラリ君
4, K, Y	: 東海村臨界事故
3, S, R	: 巨人、高橋選手
1, S, T	: 強いぞ、ダイエー!
2, N, M	: 地域の祭りガイドブック
6, F, T	: 4コマ漫画ヒラリ君

＜発表会計画＞
進行役: N, M
注意: 静かに聞く。
感想: 一人終わるごとに感想を書き、発表する。

● 各グループの発表会に少しづつ加わり、質問や感想を述べたたり、発表方法などについて助言したりする。

Yさんのまとめは絵が入って
いて工夫が
お祭りガイドブックは
とてもきれいだ。たくさん
の記事が使われているね。

3. 各グループでどんな発表や感想があったか全体に発表する。(8')

4. 意見交換をしての感想と、新聞を使った活動全体を通しての感想をカードにまとめる。(12')

事件や事故を調べて
人々の苦労や悲しみ
がよく分かった。

4コマとスゴーツ
しか興味なかった
けど新聞にはいろ
いろ書いてあるこ
とが分かった。

- 最後に2~3人の
児童に感想を発表
させる。

私は〜とヒラリ君の説明をしたけど
○○さんは何と説明しているかな?

2, S, K	: 動物園や水族館の動物
3, S, D	: 環境問題
6, T, Y	: プロ野球
5, M, N	: 食いたい人々
4, Y, N	: 新聞日記〜動物〜
1, Y, N	: 4コマ漫画ヒラリ君

＜発表会計画＞
進行役: Y, N
注意: みんなに聞こえるよう分かりやすく発表する。発表中は静かに聞く。
感想: 手を挙げて言う。紙にも書く。

Nさんのは日記みた
いにまとめているのが
おもしろいね。

Nさんのは楽しい
記事だけでなくまとめ
てあるね。新聞には
世界のいろいろな様子も
載るんだね。

1, U, S	: 地震の問題
2, U, Y	: 身辺で起きている事故
5, G, K	: 4コマ漫画ヒラリ君
7, S, K	: 4コマ漫画コボちゃん
6, T, N	: ピカソ展
4, M, M	: 世界の動物
3, M, T	: 4コマ漫画ヒラリ君

＜発表会計画＞
進行役: U, Y
注意: 発表中はしやべらず静かに聞く。
感想: 一人終わるごとに、質問と感想を言う。

ピカソのことは今までよく知らなかった
けど、カララーの記事やパンフレットが貼って
あって、どんな絵を描いた人か分かった。

野球の記事
はたくさん
あったと
うから、
う少し記
事を多く
書いて思
った。

東海村の事故のことはみんな知ってるけど
私は問題点などを詳しく話してみんなに知らせよう。

6, I, F	: プロ野球
5, K, M	: プロ野球ダイエー
2, T, M	: 東海村臨界事故
4, H, A	: いろいろな4コマ漫画
1, M, J	: プロ野球日本シリーズ
3, Y, T	: 4コマ漫画ヒラリ君

＜発表会計画＞
進行役: M, J
注意: 静かにまじめに聞く。
感想: 発表後進行から右回りに一言ずつ。
初めて知ったことを言う。紙にも書く。

Mさんのはまとめが
丁寧で、記事の感想が
とても詳しい。臨界事故
は、とても怖い事故だ
と思った。

Jさんは日本
シリーズを1戦
ごとにまとめて
あって分かりや
すかった

Jさんは日本
シリーズを1戦
ごとにまとめて
あって分かりや
すかった

5, I, R	: プロ野球中田・巨人
2, I, E	: 4コマ漫画ヒラリ君
1, K, T	: プロ野球の秘密
6, S, K	: 4コマ漫画ヒラリ君
4, H, M	: 新製品をさぐる
3, Y, H	: チーズ特集

＜発表会計画＞
進行役: I, R
注意: 発表する人ははっきり話す。聞いて
いるときは遊ばない。
感想: 発表後質問を聞く。紙にも書く。

新製品の情報が新聞に
載っているなんて知ら
なかった。今度見てみよう。

Eさんの4コマ
の説明は丁寧だね。
よく分かるよ。

5. 単元の考察・反省

- (1) グループ発表会で、友達の記事の貼り方や記事の内容について感想をもつことができたN・Mさん、G・Kさん、H・Mさん。

<N・Mさん>

T	発言者	子どもの動き	考 察
	T	「強いぞダイエー」(発表原稿をもとに発表) 選手はとても苦労して日本一になることがわかった。 記事集めは大変だったけれどもうまくできた。	記事の貼り方着目
	I	Mさんから感想を言って下さい。	
	M	新聞記事がたくさんで、集めるのが大変だと思った。	
	Y	第～戦のように、記事を隅々まではっていて良かった。	
	R	僕も同じで、記事がたくさんあった。	
	T	記事がたくさんあったし、チラシもあった。	調査方法に関する感想。 まとめられている内容への感想。 まとめ方への感想
	I	記事がたくさんはってあってよかった。	
	<中略：以下まどかの友達の発表に対する感想>		
	M	(Rへ) 新聞記事が無かったから、インターネットで調べたのがすごかった。	
		(Yへ) 臨界が起こった時間などが詳しく調べられていてすごいと思った。	
		(Iへ) たくさんの4コマが集めてあって、説明が詳しく書いていた。いつの新聞かが分かるようになっていていいなあと思った。	

Mさんは、自分の「長野県内の秋祭りと花火」というテーマのまとめを、大変意欲的にやってきた。集めた記事の一つ一つに丁寧に説明をつけ、読み手を意識して絵を入れたり吹き出しをつけたり、冊子の形式に工夫してまとめることができていた。このように自分が工夫してきた分、友達の記事の内容やまとめ方にはとても関心が高く、様々な角度から感想をもつことができたと思われる。

<G・Kさん>グループ発表時の感想記入用紙から

Sさん	1億2000万個の地雷があるなんてすごいと思った。
Y君	新聞にそんなに事故や事件があるなんて知らなかった。
T君	最後についているコメントが楽しい。
Mさん	読みやすくまとめられていた。
Eさん	僕は新聞で1回もピカソの絵を見てない。いろいろな絵がたくさんあった。
Kさん	声が小さくてよく聞こえなかった。拡大コピーしてあって見易かった。

授業の終末で、Kさんは「今まではテレビ欄しか見なかったけど、この勉強をするようになって、一通りページをめくるようになって良かった。」と全体の中で発言している。友達の記事の内容に関する感想が多く書かれていたことから、自分に関心を寄せなかった記事の発表に対して、一生懸命聞いていたことが伺える。自身の4コマ漫画の発表については「もっと人に分かるように発表すればよかった」とまとめていることから、友達の発表の仕方と比べ、自分の発表の仕方について見返すことができたと考えられる。

＜H・Mさん＞グループ発表時の感想記入用紙から

T君	野球のことがよくわかった。読みやすくておもしろかった。
Eさん	一つ一つの4コマに丁寧にコメントが書いてあって、読みやすい。
Hさん	ワインに合うチーズなどがよく分かった。どんなチーズの味かも分かった。
R君	プロ野球のいろいろな情報が分かったし、ベスト3などがおもしろかった。
Kさん	ヒラリ君のおもしろい特徴や、思ったことが書けていて良かった。

Mさんは、友達の記事への感想を上のようにまとめている。「新製品をさぐる」というテーマでの自分の活動については「自分は信濃毎日新聞でこの記事を見つけて調べようと決めました。今まで調べてきて、どんな物ができているかよく分かりました。」と授業の終末でまとめている。そして、次時、新聞に関して疑問に思っていることや、今度やってみたいことを全体で話し合っていく中で、「みんなの話を聞いて、もう一度、もっと見やすく新製品についてまとめたい」と発言している。このことから、まとめ方や記事の説明の仕方について見返すことができ、次の活動への意欲がもてたと考えられる。

(2)実践から示唆されたこと

- ・自分の決めたテーマで調べたことで、意欲を持続させることができた。調べたりまとめたりする時に、「なぜこのことについて調べたいのか」「何をみんなに伝えたいか」など、きちんと目的をもって活動させることが大切である。
- ・4コマ漫画を取り上げた子どもは、漫画の説明というパターンの活動に終始してしまった。社会の事件や事象と結びつけさせたり、小説化させたり、吹き出しを空欄にしてセリフを考えさせたりするなど、活動の内容を助言していくことも必要である。
- ・グループ発表会時のメンバー構成は、生活班、同種テーマ別班などが考えられる。グループ発表会がどういう意味づけの時間になるかによって班構成を工夫していく。
- ・難漢字・難語句にぶつかっても、積極的に辞書を引いたり、担任に聞くなどして調べている姿が見られた。読みたいという必要感があれば、難語句などは乗り越えられる。

6. 活動を振り返って

- ・選択したテーマによっては、新聞記事が収集しにくい場合がある。教師は個々の選んだテーマを大切にしながらも、活動を始める前のテーマや内容についての相談、活動の途中での調査方法や他の資料の援助などをさらに丁寧に行っていく必要がある。
- ・この活動後、子どもたちは、新聞そのものへの興味や、新たな記事への関心、自分が調べたことをもっと続けたいなどの点で多くの感想を述べている。その意欲を大切に、3学期にも同様の活動を行うこととなった。
- ・3学期の活動では子どもたちの注目する記事がさらに多様になった。教室に計画購読した新聞も2学期以上に開かれるようになり、切り抜きの予約をする子も増えた。
- ・新聞そのものへの関心を示した子もいたので、社会科とも関連させて、新聞社見学を考えていたが、時間の都合で見学をすることができなかったのが残念であった。
- ・活動を通して、子どもたちは少なくとも新聞に触れ、新聞を見ることが自然にできるようになったと思う。今後も社会事象に少しでも多く関心をもっていてもらえたらと願う。

付

新聞を使つてどんな子どもの意識
の流れるかという視点
での構想

新聞にはどんな内容が書かれて
いるの？

新聞ができて家に
届くまでは？

新聞はどんな人
たちが作っているの？

新聞とテレビの違い
はあるの？

新聞と友達に
なろう

